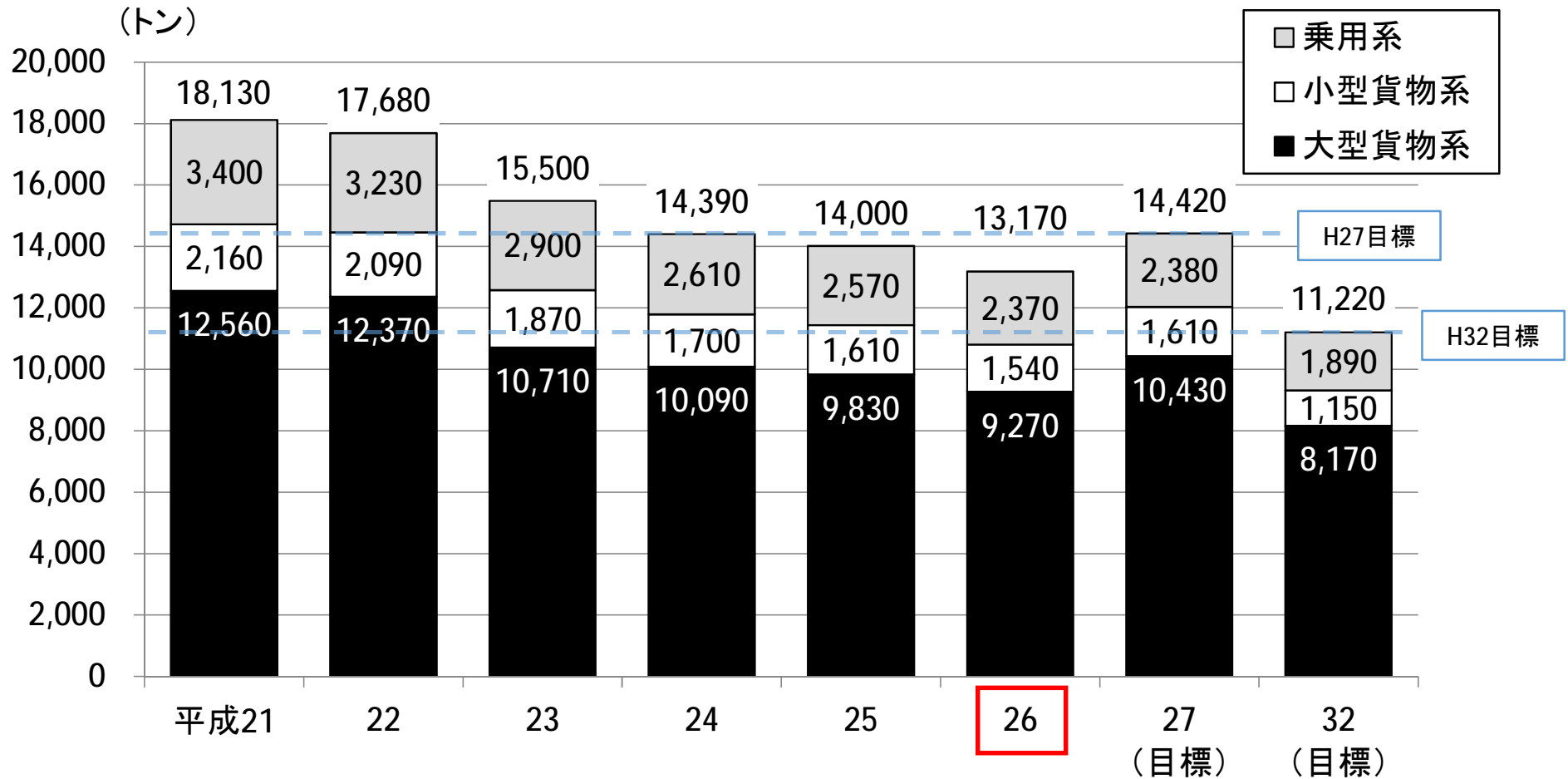


平成26年度における自動車排出窒素 酸化物等の排出量の推計について

自動車NOx排出量の推移〔対策地域〕

平成24年度に平成27年度目標を達成

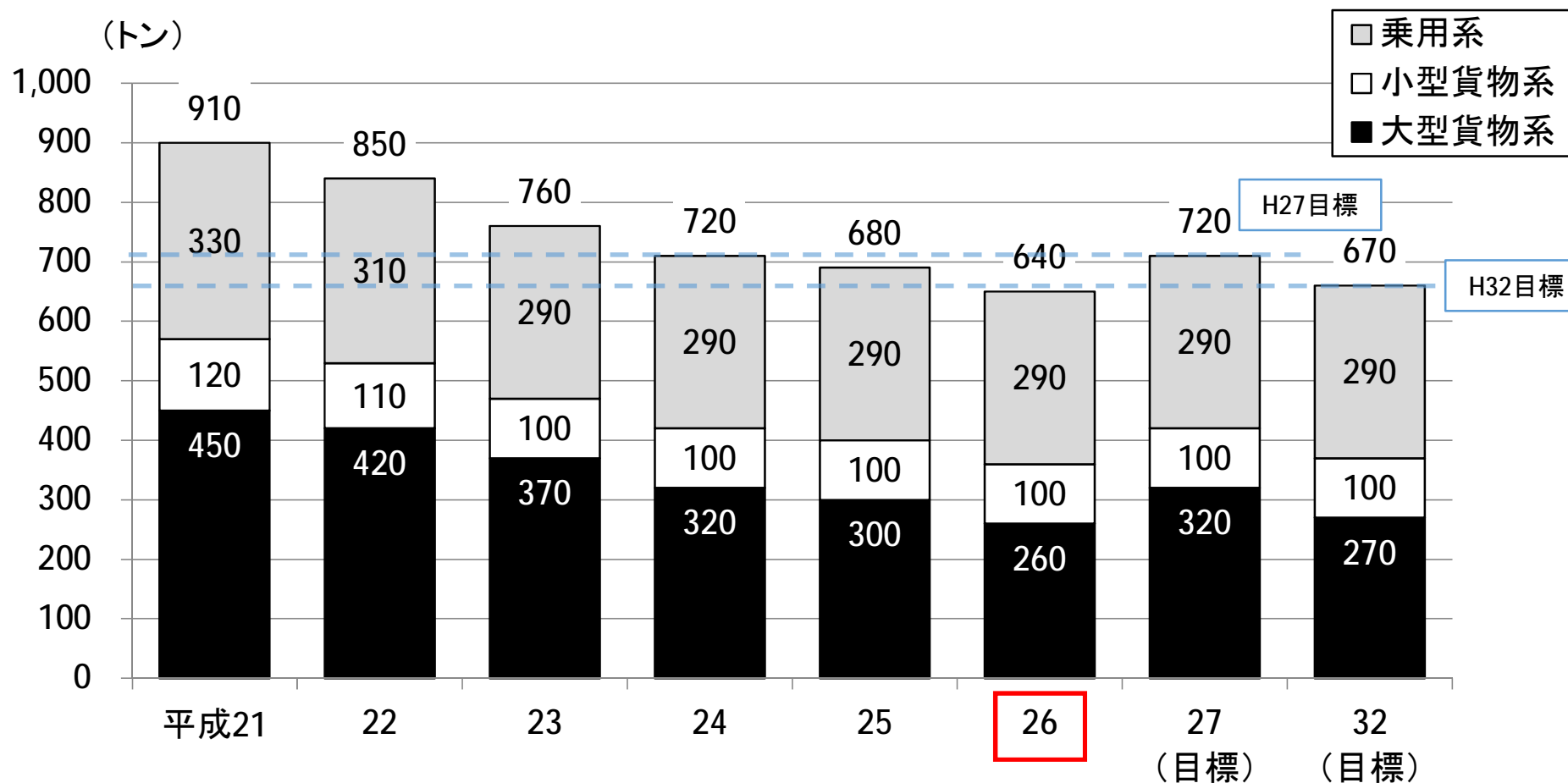
乗用系、小型貨物系、大型貨物系ともに排出量は減少傾向



(注) 四捨五入の関係で車種別の合計値と全車種の合計値が一致しない場合がある。

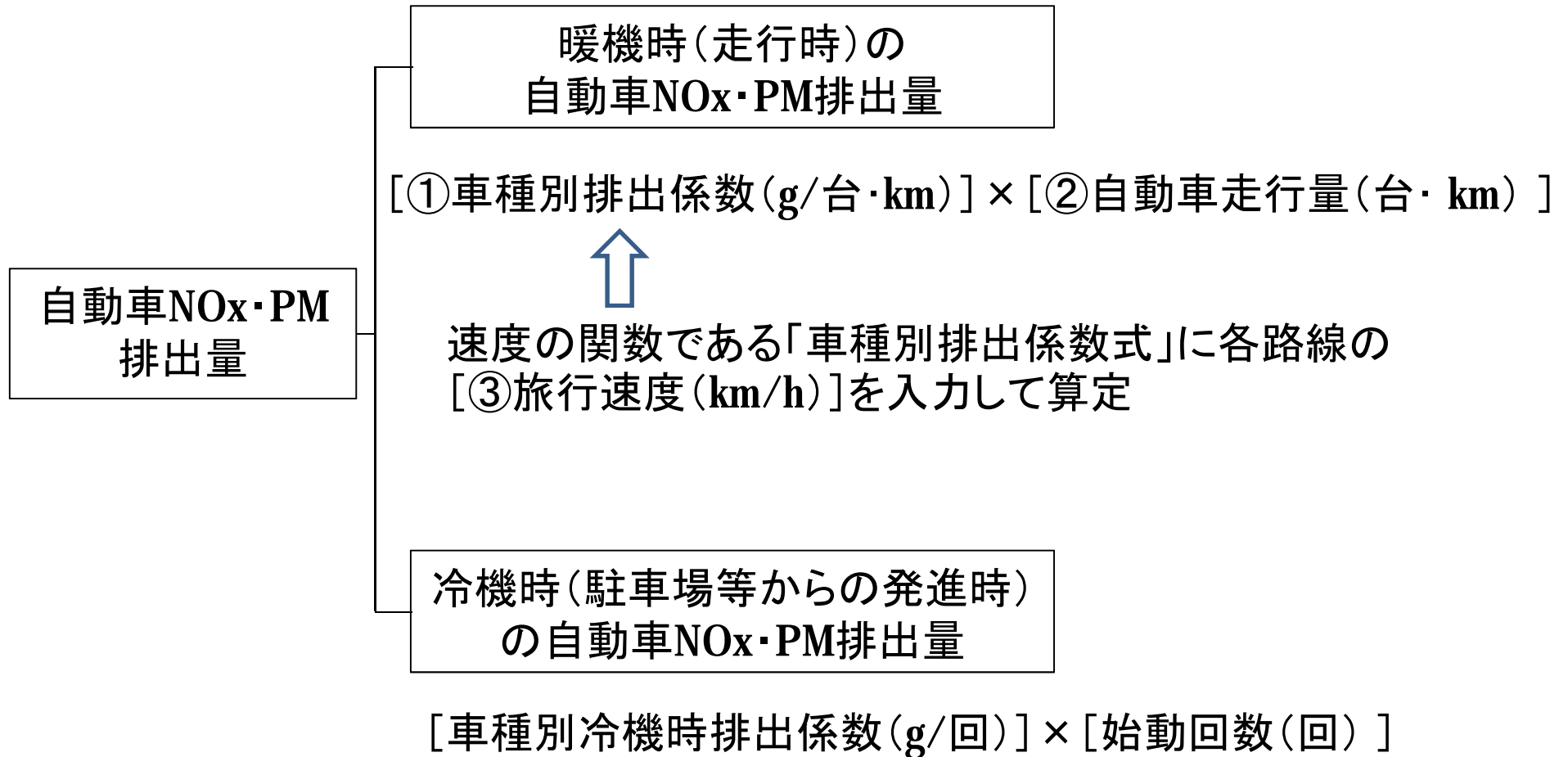
自動車PM排出量の推移〔対策地域〕

平成24年度に平成27年度目標を達成
大型貨物系の排出量は減少傾向（乗用系、小型貨物系は横ばい）



(注) 四捨五入の関係で車種別の合計値と全車種の合計値が一致しない場合がある。

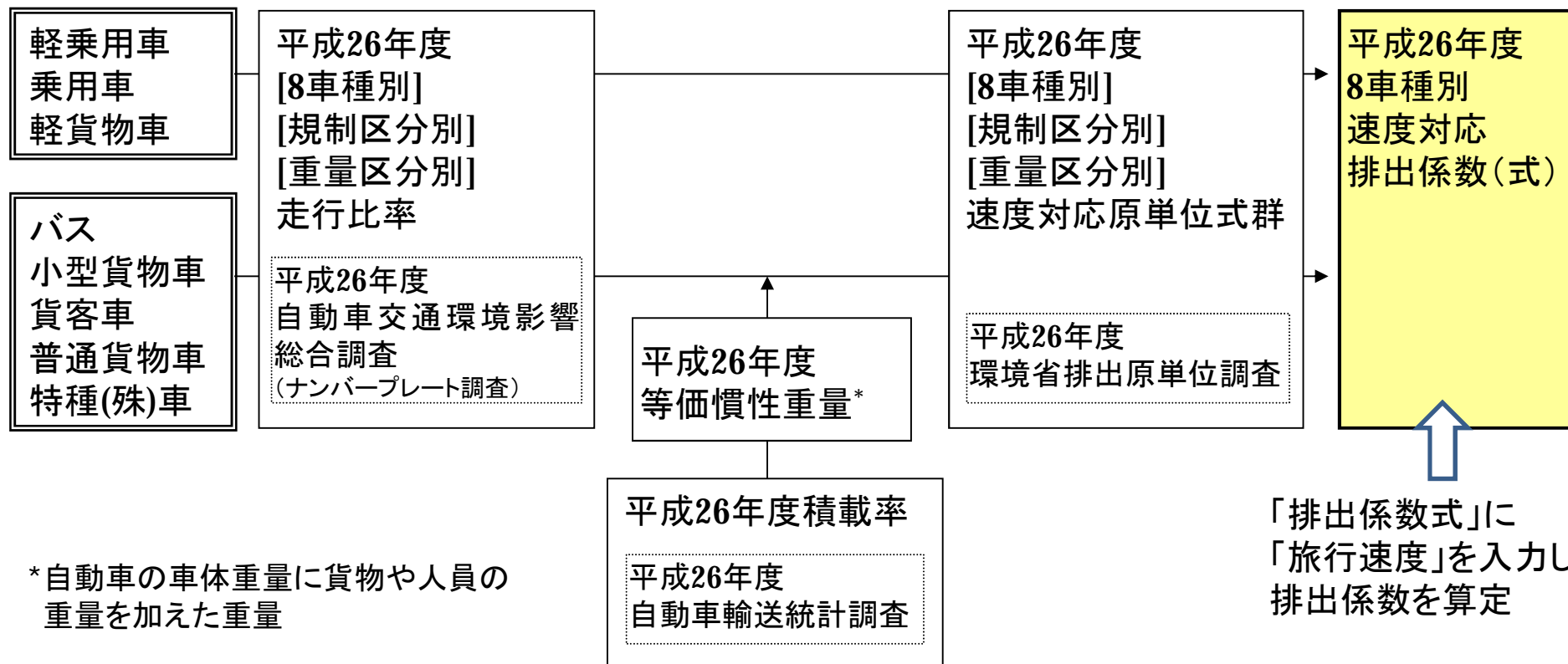
排出量の算定方法の概要



排出係数の算定方法

①車種別排出係数 (g/台・km)

1台の車が1km走行時に排出するNOx・SPMの量

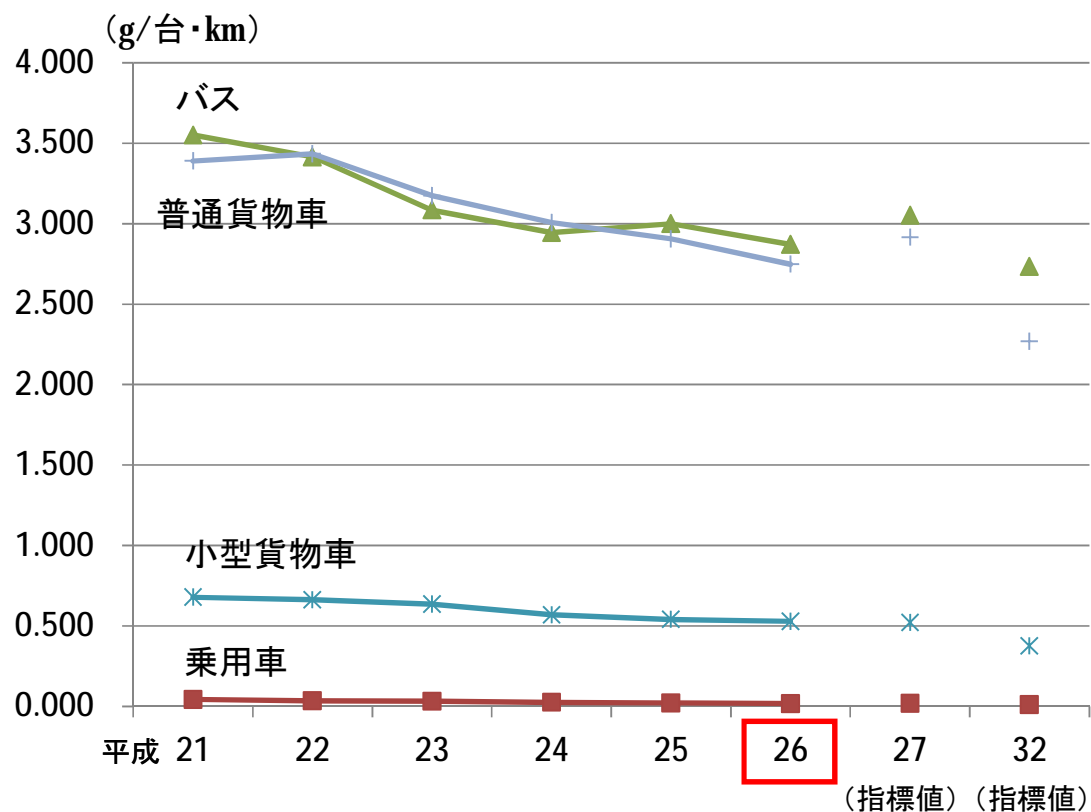


車種別NOx排出係数の推移

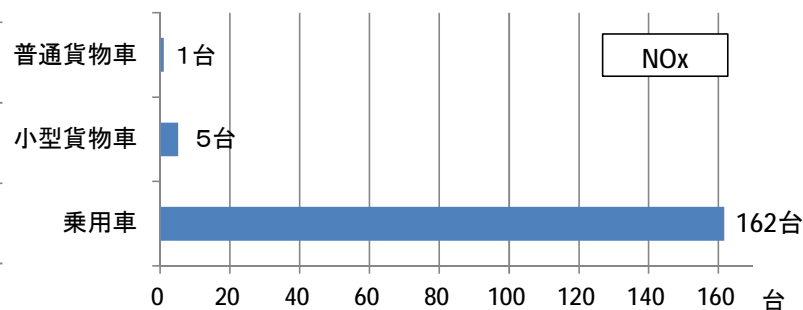
排出係数は平成21年度から減少傾向

普通貨物車1台からの排出量は
乗用車162台分

旅行速度40km/hにおける車種別排出係数
(乗用系、小型貨物系、大型貨物系の主な車種)



普通貨物車1台分の排出量に
相当する他車種の台数



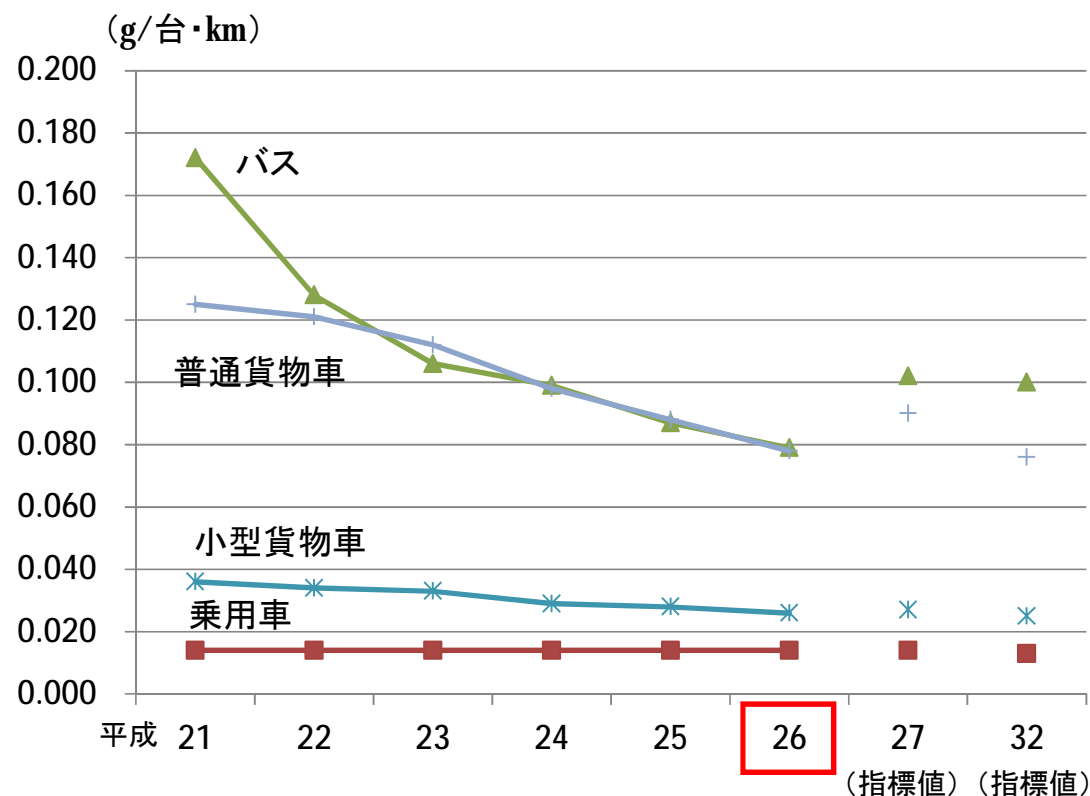
※旅行速度40km/hにおける
排出係数から算出

車種別PM排出係数の推移

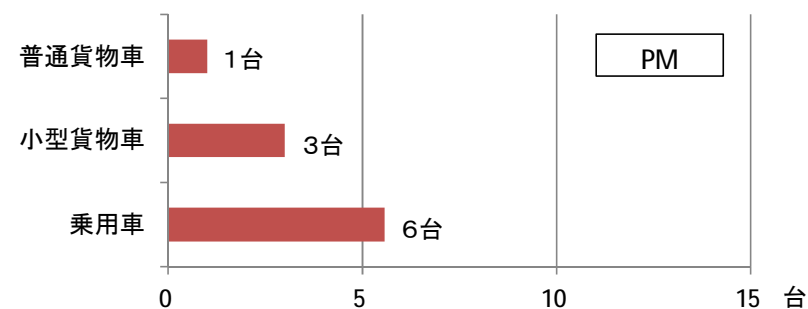
平成21年度から
バス、普通貨物車、小型貨物車の排出
係数は減少傾向、乗用車は横ばい

普通貨物車1台からの排出量は
乗用車6台分

旅行速度40km/hにおける車種別排出係数
(乗用系、小型貨物系、大型貨物系の主な車種)



普通貨物車1台分の排出量に
相当する他車種の台数

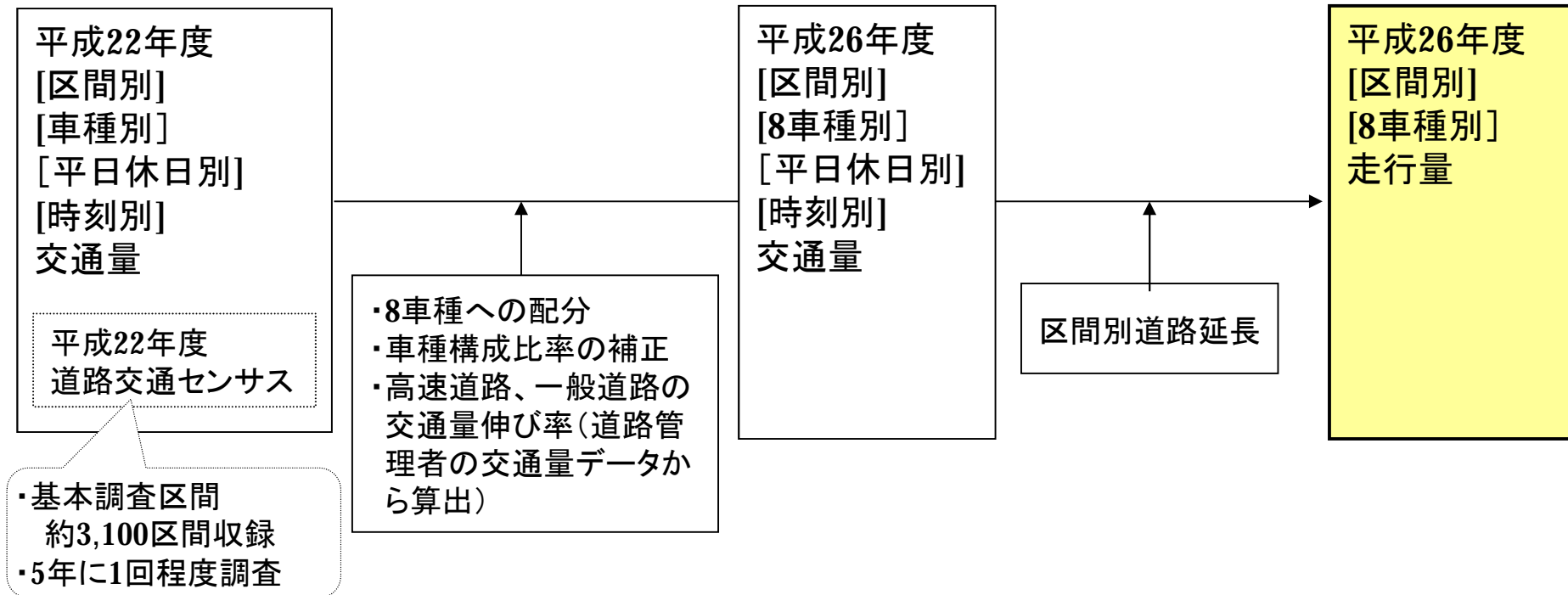


※旅行速度40km/hにおける
排出係数から算出

自動車走行量の算定方法

②自動車走行量 (台・km)

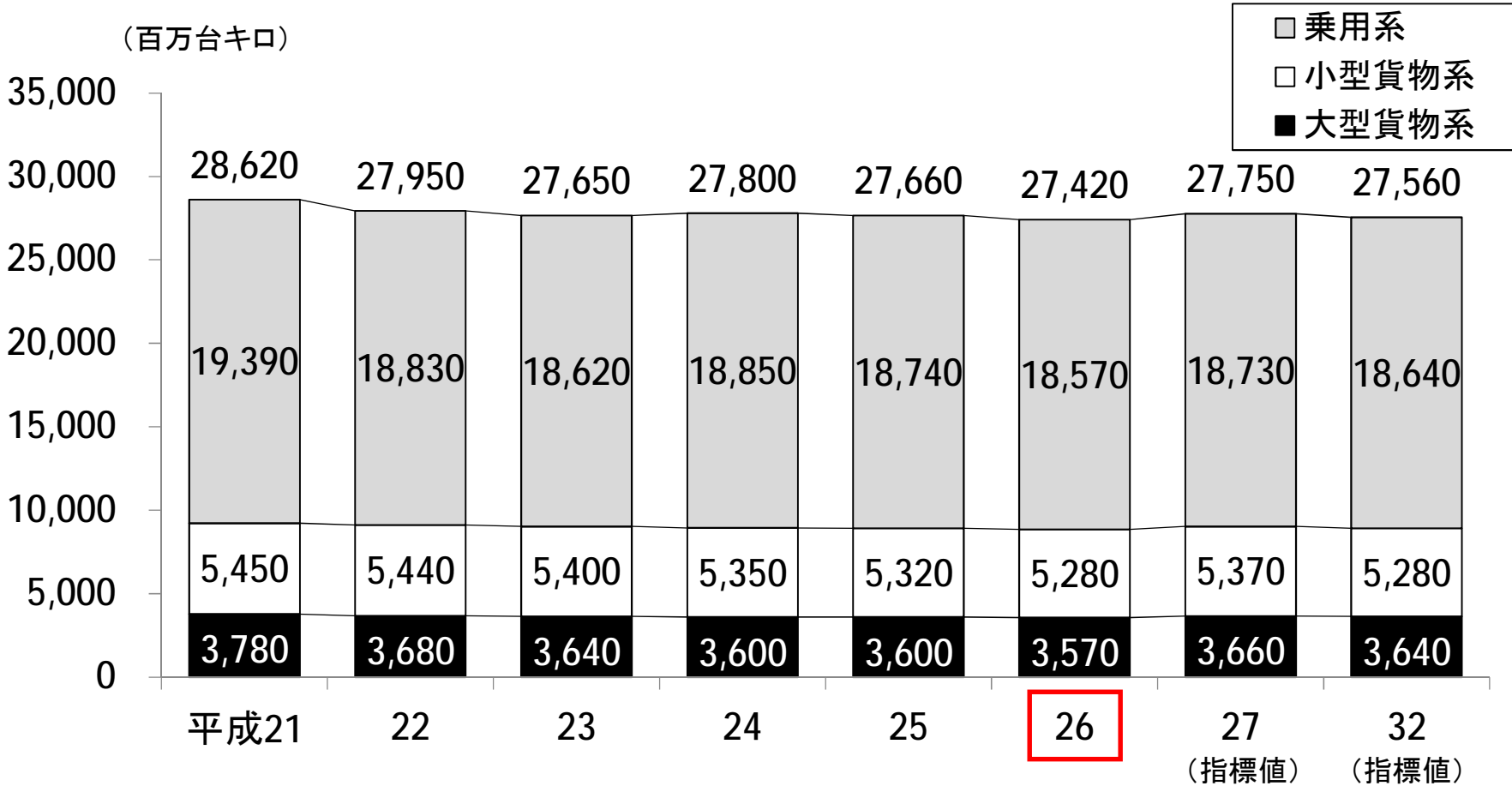
何台の自動車は何km走ったか
(区間別交通量 × 区間別道路延長)



※細街路(道路交通センサスの対象となる幹線道路以外の道路(住宅街の生活道路など))の走行量については別途調査データにより算定

年間走行量の推移〔対策地域〕

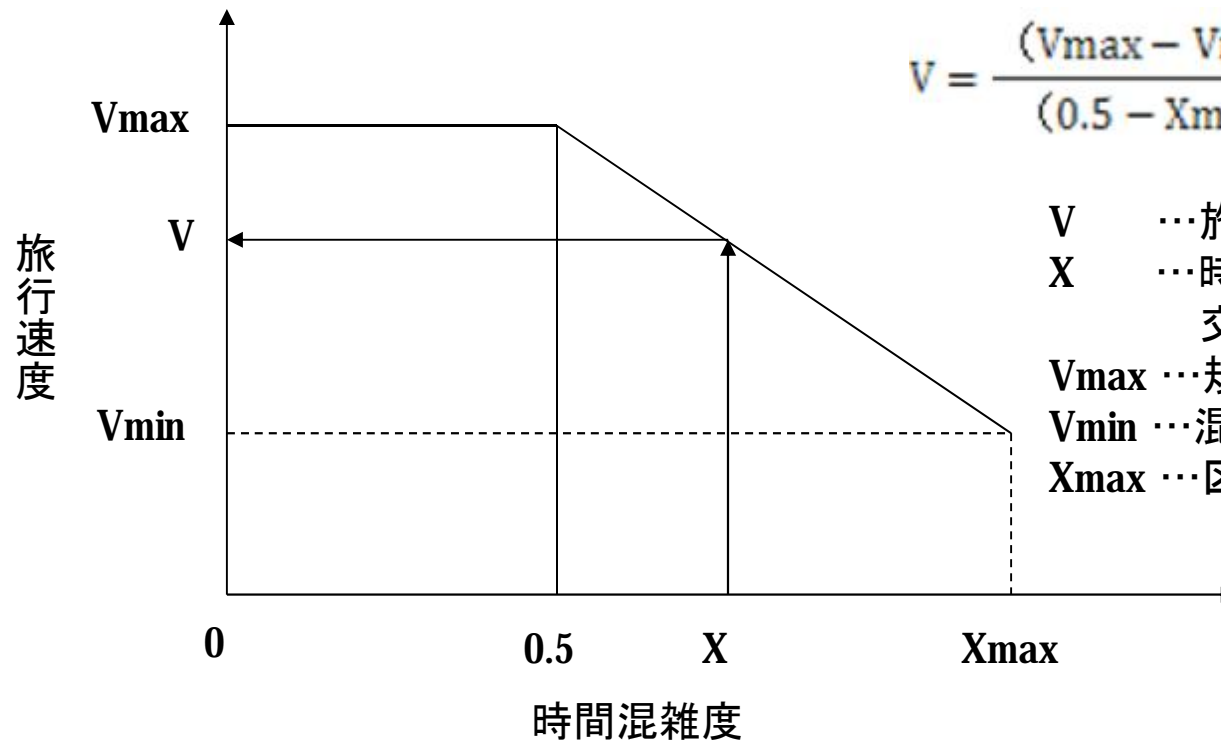
走行量は平成21年度から4%減少



旅行速度の算定方法

③旅行速度 (km/h) 道路を走行する自動車の平均速度

各路線区間ごとの時間混雑度から
時間別旅行速度を算定



$$V = \frac{(V_{\max} - V_{\min})}{(0.5 - X_{\max})} \times (X - X_{\max}) + V_{\min}$$

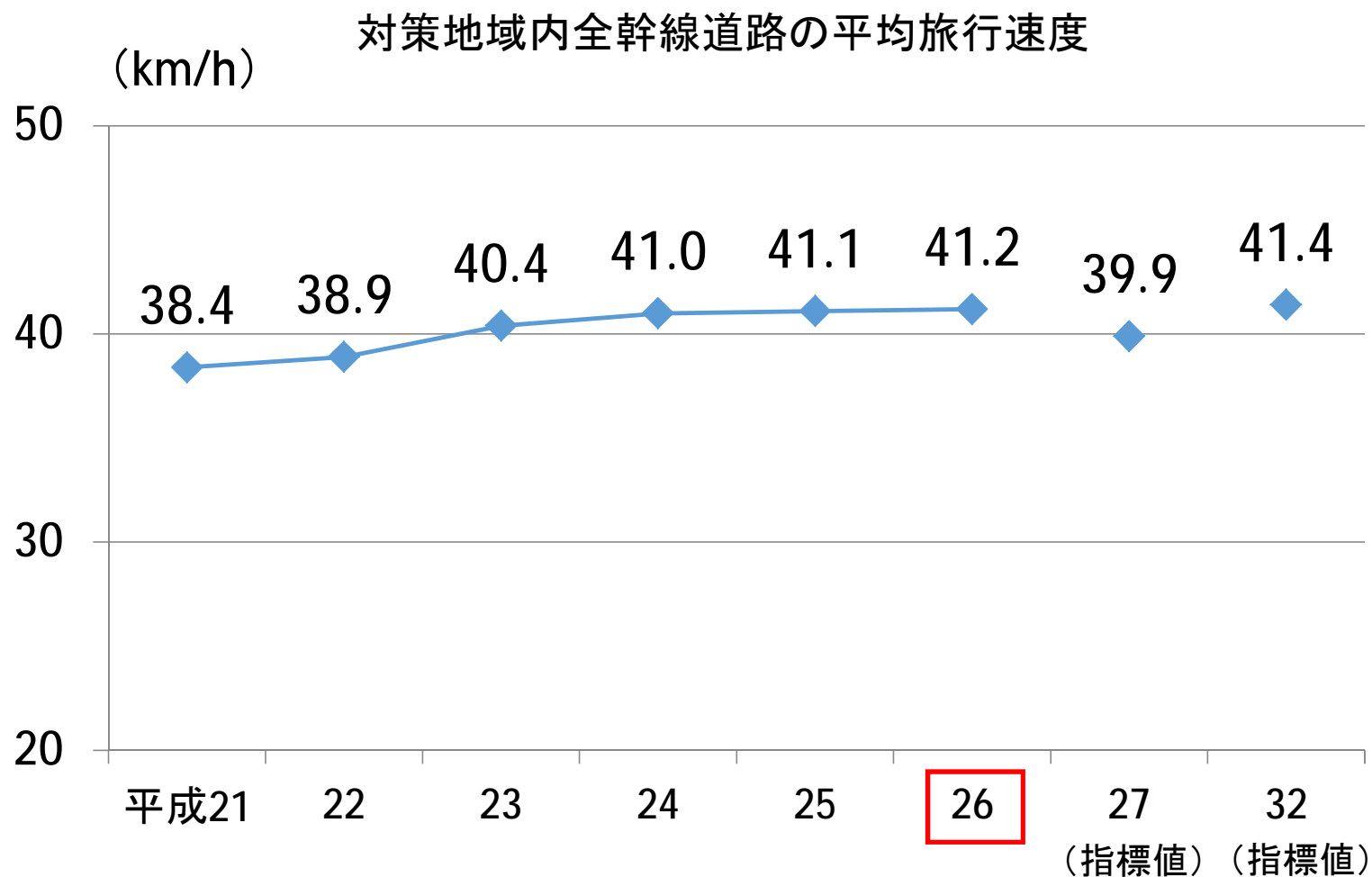
- V …旅行速度
- X …時間混雑度(時間別乗用車換算
交通量÷乗用車換算交通容量*)
- Vmax …規制速度
- Vmin …混雑時旅行速度
- Xmax …区間毎の最大混雑度

* 交通容量:ある道路の断面を、一定の
時間に通過できる最大交通量

※細街路(住宅街の生活道路など)の旅行速度については別途調査データにより算定

平均旅行速度の推移〔対策地域〕

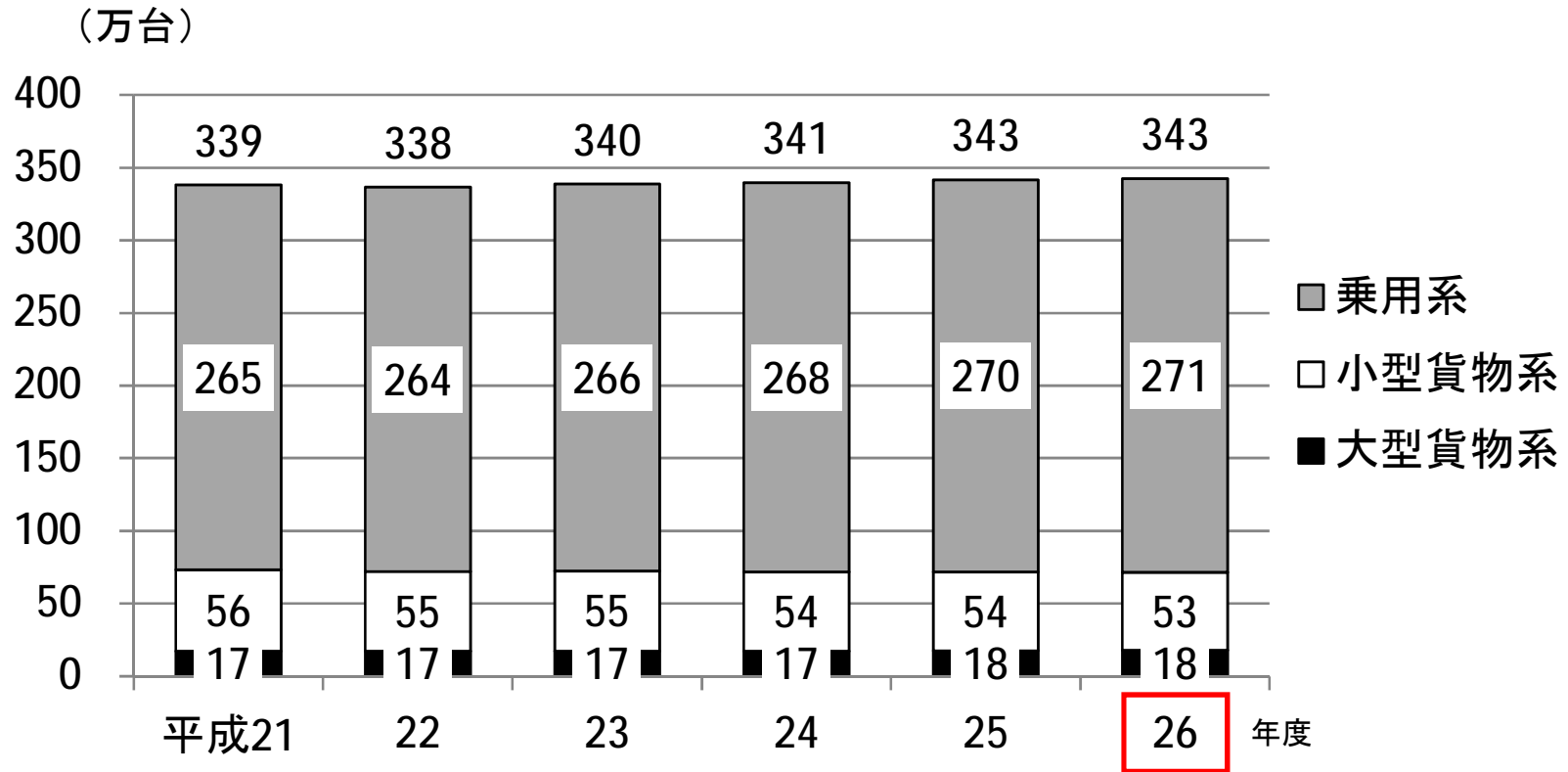
平均旅行速度は平成21年度から7%上昇



※旅行速度が遅いと排出係数は大きくなる

【参考資料】 大阪府対策地域における自動車保有台数

平成21年度より1.2%増加



乗用系 : 軽乗用車、乗用車、バス
小型貨物系 : 軽貨物車、小型貨物車、貨客車
大型貨物系 : 普通貨物車、特種(殊)車

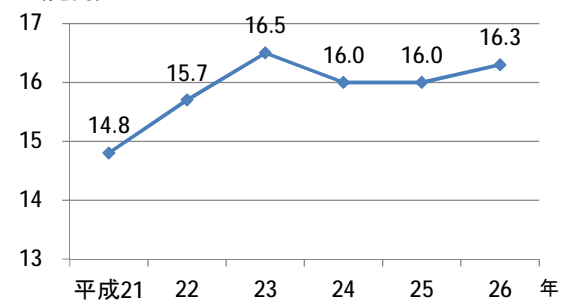
【参考資料】

経済活動等の状況

(1) 製造品出荷額等の推移

平成26年の大阪府の製造品出荷額等は、平成25年より増加

(兆円) 大阪府の製造品出荷額等の推移

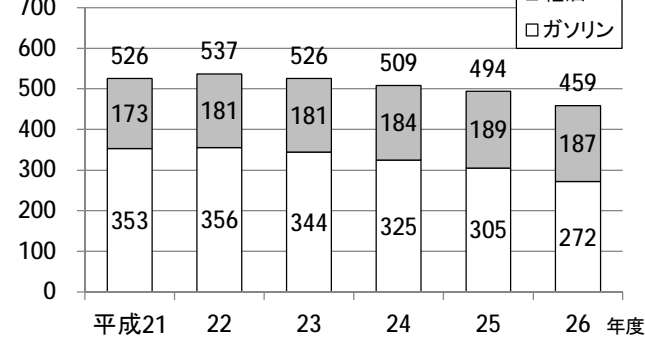


大阪府作成

(2) 燃料販売量の推移

平成26年度の軽油及びガソリンの販売量は、平成25年度から減少

(万kL) 燃料販売量の推移

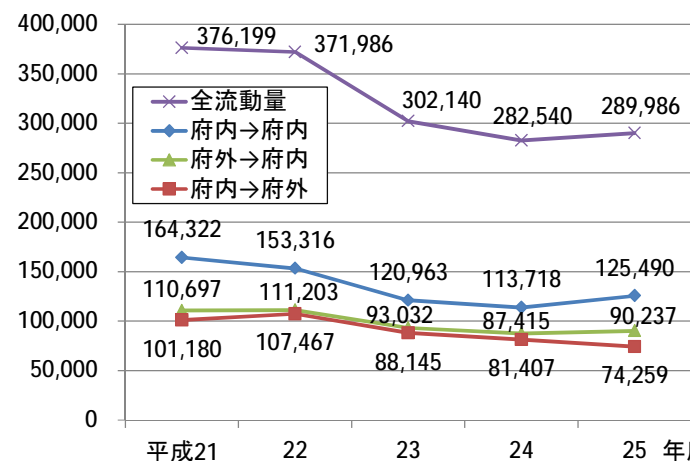


経済産業省資料をもとに大阪府作成

(3) 貨物地域流動量の推移 (大阪府内)

平成25年度の大阪府内の貨物の全流動量は、平成24年度から増加

(千トン) 貨物地域流動量調査結果



貨物地域流動調査 (国土交通省)をもとに大阪府作成